

# まちのわだい MY TOWN TOPICS

※情報は、取材日時点のものです。

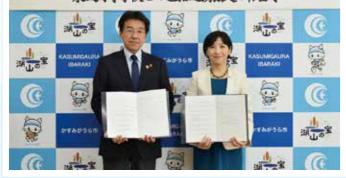
秘書広報課(千代田庁舎)

### 🕋 東風高等学校と包括連携協定を締結

9月18日、市内唯一の高校である東風高等学校と包 括連携協定を締結しました。本市と東風高等学校が協力 関係を築き、地域の未来を担う人材の育成および、市内 企業との連携による就労促進など、魅力あるまちづくり の形成につながる大変有意義な協定となります。協定に ついて大崎校長からは「地域の活動に関心を持っている 生徒も多い。市と学校の両者で次の世代を育成していく ことで、地域行政に貢献したい」との言葉がありました。

## かすみがうら市及び学校法人震ヶ浦学園つくば国際大学

東風高等学校との包括連携協定締結式



同月20日には、東風高等学校で初となるイベ ント[ガチャ・フェス]が開催されました。このイ ベントは先端技術の体験を通して進路選択のきっ かけを作ることを目的としており、さまざまな企 業が出展しました。体験に参加した生徒からは「憧 れの仕事の楽しさと難しさを感じることができ た]といった声があり、活気あふれる一日となり ました。







プロジェクションマッピングの撮影体験



#### 沖ノ内自主防災会が防災倉庫を設置

沖ノ内自主防災会は令和5年4月1日に結成され、 昨年から大雨や台風の際にも冠水防止のための排水ポン プ作業などに取り組んでいます。今回宝くじの助成金と 地区の負担金で、防災倉庫や非常用発電機の他、大雨に よる水害を想定して救命ボートなどを購入しました。同 防災会代表の藤井修一さんは「倉庫の設置を通して、広 い世代に自分が住んでいる地域の危険性を日頃から意識 してもらえれば」と思いを語ってくれました。







コンバインで有機米を収穫する生産者の中根飛馬さん



#### 一 市内で初の有機米を収穫

9月12日、上佐谷地内の水田で市オーガニック推進 協議会による有機米の稲刈りを行いました。収穫された 有機米は、12月に市立小中義務教育学校の学校給食へ 約1カ月分提供することを予定しており、また同月9 日には有機給食の試食会および「オーガニックビレッジ 宣言」を霞ヶ浦南小学校で行います。市では市内で生産 された有機農産物を学校給食へ提供する取り組みによっ て、持続可能な農業を目指しています。



#### 交通安全活動功労者に感謝状を授与

9月24日、市では地域の交通安全活動に携わり交通 事故防止に貢献した方々の功労を称え、感謝状を授与し ました。今回表彰されたのは、土浦地区交通安全協会か すみがうら支部、市交通安全母の会、市女性ドライバー 友の会で10年以上活動を続けている皆さんです。

また、同団体は同日に千代田ショッピングモールで秋 の全国交通安全運動街頭キャンペーンを行い、事故防止 に対する意識のさらなる向上を呼びかけました。







#### 地域おこし協力隊が中間報告

楽しい行事や新しい活動など、身近な情報をお寄せください。 また、各学校では、スポーツ・文化芸能などで受賞した児童、 生徒を募っています。通学している学校へご報告ください。

> 10月2日、千代田庁舎で地域おこし協力隊事業の中 間報告会を行いました。市が委嘱する4名の協力隊から、 古民家活用事業や、ブドウ栽培による地域協力活動、霞ヶ 浦の外来生物を食用などに有効活用する研究、有機資材 (放置竹林) の活用など、今後の事業計画も含めた発表 がありました。発表後には市長との座談会を行い、活動 の成果である開発商品をお披露目しつつ、事業全般の課 題、改善点や今後の展望について意見を交わしました。



#### 下大津コミュニティステーション (下大津さくら館) 開館式典を開催

10月5日、旧下大津公民館を拠点とする下大津コミュ ニティステーションの開館式典を開催しました。施設の 愛称は地域の方々からご応募いただいた24件の中から 「下大津さくら館」に決定しました。式典では施設の内 覧会を行い、あゆみ太鼓の演奏も披露されました。下大 津コミュニティステーション(下大津さくら館)のご利 用やお問い合わせについては、霞ヶ浦コミュニティセン ター(☎029-897-0511)までご連絡ください。







### 株式会社アーキビジョン二十一様から寄付

株式会社アーキビジョン二十一様から企業版ふるさと 納税を通して、下大津コミュニティステーションの設備 としてムービングハウスの寄付を受けたことから、開館 式典に併せて感謝状の贈呈を行いました。ムービングハ ウスはコミュニティ活動の拠点として利用する他、自然 災害など有事の際に備えた防災拠点としても活用される 施設です。市では今回いただいた支援を大切にし、地域 のために役立てていきます。

